



豊里

気持ちを一つに綱を引き合う

「第33回子ども綱引き大会」(豊里町子ども会育成会連合会主催、遠藤たえ子会長)は6月24日、豊里公民館大ホールで開かれ、参加した子どもたちが熱戦を繰り上げました。今年には9行政区から14チーム、総勢98人の児童が出場。力を振り絞りながら、気持ちを一つに綱を引き合う児童に、会場から大きな声援と拍手が送られました。予選リーグを勝ち抜いた上位8チームが決勝トーナメントに進み、下町・クローバー子ども会が優勝しました。

大自然で育んだ友情と協調性

米山地区3小学校の4～6年生を対象とした「林間楽校」(中津山公民館、米山公民館、吉田公民館主催)は8月1、2の両日、栗原市花山にある国立花山青少年自然の家で開かれ、各小学校から54人が参加しました。林間楽校は、児童の交流や集団生活に慣れることなどを目的に毎年開催。初めは戸惑いがちだった児童も、大自然の中でキャンプファイヤー、沢登りや風鈴作りなどを体験し、集団生活の中で友達や自然の大切さを学びました。



米山

動物と触れ合いあふれる笑顔

「動物ふれあい教室」(県登米保健所主催)は7月3日、石越幼稚園(佐々木静園長、園児50人)で開かれ、園児はイヌやウサギなどと触れ合い、楽しいひとときを過ごしました。教室は、子どもたちが動物と触れ合うことで、動物の習性や正しい飼い方、命の大切さについて学び、生き物を愛する心を育むことが目的。園児は、県動物愛護センター職員から動物の触り方や餌のあげ方を教わりながら、抱いたり、なでたりし、終始笑顔があふれていました。



石越

子どもたちが民俗芸能を披露

「大嶽山観音堂公開芸能祭」(おおたけさん讃和会主催)は7月15日、大嶽山興福寺神楽殿で開かれ、約450人の見物客が訪れました。芸能祭は、南方地区をはじめ市内の子どもの民俗芸能の発表の場を設けたいと、地域住民が主体になり初めて開催。アジサイが咲き誇る会場で、南方地区の小学生による神楽や大黒舞、津山地区の小学生による獅子舞など、11団体、115人が演目を披露し、見物客の目を楽しませました。



南方

開通記念BRTウォーキング

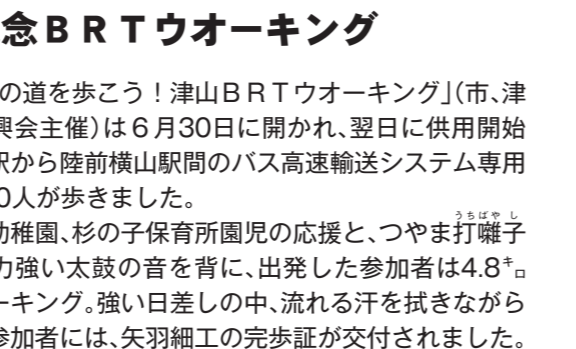
「BRTの道を歩こう!津山BRTウォーキング」(市、津山地域振興会主催)は6月30日に開かれ、翌日に供用開始する柳津駅から陸前横山駅間のバス高速輸送システム専用道を約150人が歩きました。つやま幼稚園、杉の子保育所園児の応援と、つやま打囃子保存会の力強い太鼓の音を背に、出発した参加者は4.8キロをウォーキング。強い日差しの中、流れる汗を拭きながら完歩した参加者には、矢羽細工の完歩証が交付されました。



津山

よさこいで登米市をアピール

若い世代を中心に活動する中田町上沼のよさこいダンスチーム「舞姿道みろく」(織田義之代表)は6月23、24の両日、秋田県秋田市で開かれた「第21回ヤートセ秋田祭」で、気迫あふれる熱演を披露し、準大賞を受賞しました。同チームは現在、10月に仙台市で開かれる「みちのくYOSAKOI祭り」に向け練習中。織田代表は「今後もよさこいを通し、市内外で幅広く活動しながら、登米市をアピールしていきたい」と話していました。



中田

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

合宿通学でドラム缶風呂体験

北方小学校の「コミュニティ・スクール」の合宿通学は7月1～4の4日間、北方公民館で開かれ、北方小学校(菅原克也校長、児童188人)4～6年生の37人が参加し、公民館で集団生活しながら小学校に通学しました。合宿では、地域住民の協力で星空観察や郷土料理「はつと」作りなどを体験したほか、長沼温泉の源泉をたき火で沸かしたドラム缶風呂に挑戦。不安げな表情だった児童も、お湯に入ると「気持ちいい」と笑顔を見せていました。

情報共有し地域防災力アップ

「登米地区防災福祉マップ研修会」(登米市社会福祉協議会登米支所主催)は7月4、18、25の3日間、登米公民館で開かれ、約150人が参加しました。研修会は自分の地域を知り、災害の課題や特徴、対応などの情報を共有することが目的。参加者はグループに分かれ、地図上にマーカーで記入したり、シールを貼ったりして、危険箇所や避難ルートなどを確認しながら、話し合い、防災への意識をより一層高めていました。



登米

豊かな自然の中で親睦深める

東和地区3小学校の5年生を対象とした「東和地区三校合同交流体験活動」(同実行委員会主催)は7月22～24の3日間、栗原市花山にある国立花山青少年自然の家で開かれました。交流体験には各小学校から39人が参加し、初めて顔を合わせた児童らは、お互いに声を掛け合いながら、野外炊飯や沢登りなどに挑戦。キャンプファイヤーでは、たき火を囲んでダンスやゲームをしながら親睦を深めました。

よさこいで登米市をアピール

若い世代を中心に活動する中田町上沼のよさこいダンスチーム「舞姿道みろく」(織田義之代表)は6月23、24の両日、秋田県秋田市で開かれた「第21回ヤートセ秋田祭」で、気迫あふれる熱演を披露し、準大賞を受賞しました。同チームは現在、10月に仙台市で開かれる「みちのくYOSAKOI祭り」に向け練習中。織田代表は「今後もよさこいを通し、市内外で幅広く活動しながら、登米市をアピールしていきたい」と話していました。



東和

